

## 知事コメント

令和3年12月27日(月)

県民の皆様、平素より感染対策のお取組み誠にありがとうございます。年の瀬も押し迫ってまいりましたが、年末年始の休日を迎えるにあたり、県民の皆様に、県内の感染状況について大きく2点お伝えしたいことがございます。

まず1点目はオミクロン株の感染状況についてです。県内では、本日までに10名のオミクロン株陽性者、8例の疑い事例が確認されております。また、調査により特定された濃厚接触者は63名となっております。

オミクロン株は基地関係者を中心に現在確認されております。今月17日に県内1例目が確認され、翌18日には早期封じ込めの為の無料PCR検査を開始致しましたが、多くの基地従業員の方に受検頂きました。積極的な検査受検に感謝申し上げますとともに、25日からは県民を対象とした検査無料化事業を開始致しましたので、感染を心配される方などについては、引き続き積極的な受検をお願い致します。

現時点では、ほとんどの感染経路が特定されているところですが、この間、基地と関連が確認されない事例も1例確認されており警戒を強めているところです。また、この間も米軍基地内の感染者は増加し続け、直近2週間で336名確認されておりますが、変異株かどうかも確認されていない状況にあります。

在沖米軍の感染防止対策については、21日、私から四軍調整官であるピアマン中将等に口頭要請したことに続き、23日、24日には、私が会長を務める軍転協においても内閣官房副長官等に対し要請書を手交し、日米両政府に強く要望したところです。

こうした要請においては、クリスマスシーズンを迎えることから、基地の外でのマスク着用を徹底する等、行動指針を遵守することを求めていたにも関わらず、20日に続き、要請直後の25日にも、キャンプ・ハンセン所属の隊員による酒気帯び運転事件が発生しました。県としては、軍の規律が著しく緩み、管理能力も欠如していると言わざるを得ず、極めて遺憾であり、在沖米海兵隊においては、教育の徹底等、より一層の綱紀肅正や、実効性のある再発防止策を早急に講じ、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期す必要があると考えます。

オミクロン株については、未だ不明な点も多いところですが、県としまして、検査を拡充し封じ込めのための検査協力を求めていくとともに、医療提供体制をどのように維持していくかが重要であると考えております。

オミクロン株の対応については、国の通知に従い、陽性者は全例個室に入院させ、濃厚接触者は原則宿泊療養施設で健康観察を行うなどの対応行っていますが、昨日開催しました感染症対策専門家会議から、今後さらに感染者が増えた場合、全国一律の対応を取り続けることは困難になることが想定されるため、地域の医療提供体制の実情にあわせて柔軟に対応していくべきとの意見が出されました。県としまして、このような県の実情を国に伝え、調整を図ってまいります。

次に2点目ですが、県内の感染状況については12月上旬より横ばいの状況が続いていましたが、先週頃より拡大傾向をみせております。

現時点では、北部と中部の流行が大部分となっておりますが、直近で那覇市や浦添市でも陽性者が確認されるなど他の地域への拡がり懸念される所です。

県としまして、21日北部保健所管内町村に向けて、注意報を発出し、夜間の会食は控えることや、会食は4人以下2時間以内とし、混雑している場所への外出を控えるようお願いしているところです。名護市でも徐々に陽性者が確認されてきており、このまま増加すれば外出自粛要請をお願いせざるを得なくなります。北部地域にお住まいの皆様や訪れる機会のある方々は警戒感を高めて、会食を控え、感染防止対策の徹底をお願いします。

県内は流行の立ち上がり期にあると思われれます。ここで耐えられるかどうか、全ての県民が年末年始を穏やかな気持ちで過ごせるかどうかの分かれ目となります。中南部においても、体調管理や基本的な感染防止対策を引き続き実践していただきたいと思っております。不安がある方は是非無料検査をご利用下さい。

これからの時期は帰省、イベント、観光など県をまたぐ移動が増加します。首都圏や関西などで市中感染が確認されているオミクロン株の県内持ち込みも懸念される所です。帰省などをされる親族に家族からPCR検査を受けることをお勧め下さるようお願いいたします。

最後に、年末年始は医療機関も休診となるため例年多くの患者さんが救急病院を受診しますが、コロナ対応で病床が制限されている中では、病院にとって大きな負担となりえます。県民の皆様におかれましては、体調に気を付けて、適正飲酒など生活習慣病の管理、事故予防のための行動などをお願いします。救急医療の体制を守るために、発熱などの症状がある時には相談コールセンター(098-866-2129)を、小児の場合は#8000もご利用下さい。ただし、意識障害や呼吸困難等、いつもと明らかに違う症状があるという場合には、ためらわずに病院を受診してください。ご協力をお願い致します。